

事務事業名		畜産振興事業			会計	一般会計					
課等名		農業課			事業種別	政策		開始		終了	
係等名		生産振興係									
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化								
目的	対象(誰・何を)	畜産関係者・団体				対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	畜産の振興及び施設の整備を図る					畜産農家数:戸			122	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の算出額(農業):億円					頭羽数			31704	
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	定性目標	畜産事務事業の円滑な推進が図られる。									
事業概要	1 畜産振興の支援事務 2 畜産振興のための基礎調査・頭羽数、家畜飼養者の調査 3 家畜防疫の推進事務 4 と畜場の運営支援										
24年度事業内容	事業内容					名称			活動指標		
	1 家畜防疫推進事業 研修会参加・事務費 2 飯伊家畜畜産物衛生指導協会への参加 3 畜産振興事業 (株)長野県食肉公社飯田支社への、と畜料補てん、内臓水洗料金補てん					1 防疫会議開催数 2 幹事会等開催数 3 補助件数			1 3回 2 4回 3 1件		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		624	1,321	678	2,871						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		624	1,321	678	2,871						
人件費計(千円)②		858		858							
正規職員所要時間		240		240							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		1,482	1,321	1,536	2,871						
事業内容・目標達成状況の振り返り	畜産農家数の減少により家畜の飼育頭羽数が減少したが、JAや関係機関との連携した取組みにより、大きな疾病等の発生はなかった。										
改革改善の考え方	①問題点	畜産農家並びに農業者団体等との連携により効果的な各種畜産振興事業の構築をはかる。生産基盤の維持が喫緊の課題である。									
	②改革提案	新たに創設した畜産生産緊急対策事業の活用を進め、養豚衛生対策向上と優良素牛等導入の支援を行い、生産基盤維持向上につなげる必要がある。									